

第13回 杉浦賞 (杉浦地域医療振興賞)

【趣旨】

地域医療・福祉を振興し、国民の健康と生活の向上に優れた成果をおさめ、住み慣れた地域で安心して、その人らしく住み続けることを支援する活動を行った団体・個人の取り組みについて、その主体者である団体・個人を対象に表彰します。

地域医療・福祉に貢献をした人々の活動に光を当てることで、全国に活動の機運が広がること、また奨励、促進する環境を醸成することを目的とします。

【選考基準】

世の中全体が激動期にあるので、この褒賞の内容が羅針盤の役割を果たせるものであることが望ましい。その観点から以下の4点を選考の基準とします。

- 地域から全国への展開ができる内容であること。
- 長年にわたり地域のために貢献していること、あるいは、今後も継続性のある活動であること(論文の数などではない)。
- イノベティブなもの(地域医療の新しい仕組みづくりの提案)であり、今後広く公表する必要があること。

あること。

- 過去にも相応の実績を有すること。

【選考対象】

研究者、専門職(医師、歯科医師、看護師、薬剤師、介護福祉士等)、その他(自治体、NPO、ボランティア等)の方で、全国に波及する可能性を有する活動を行っている団体・個人。

但し、その活動が現在も継続しているものに限り

【審査委員】

審査委員長

大島 伸一

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長
日本福祉大学 常務理事

秋山 弘子

東京大学 名誉教授
東京大学高齢社会総合研究機構 客員教授

柴田 博

桜美林大学 名誉教授
一般社団法人日本応用老年学会 会長

辻 哲夫

東京大学高齢社会総合研究機構・未来ビジョン
研究センター 客員研究員

※委員長を除いて五十音順/2024年6月現在

第13回 杉浦賞 受賞者

- 6 **【最優秀賞】**
岡山県医師会移動会長室事業「若者世代へのACP・人生会議普及啓発」
公益社団法人 岡山県医師会
- 10 **【最優秀賞】**
日本の看取りを支える“看取り士”の重要性
一般社団法人日本看取り士会
会長 柴田 久美子
- 14 **【優秀賞】**
ヒアリングフレイル予防と対策における啓発活動
NPO法人日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会
- 18 **【優秀賞】**
「話すことは生きること」コミュニケーションによる
シニアとこども両面からの少子高齢社会課題解決モデル構築
特定非営利活動法人声とことばの力